

女性研究者研究活動支援事業（連携型）

(実施期間：平成 26～28 年度)

代表機関：徳島大学（総括責任者：野地 澄晴）

共同実施機関：香川大学、愛媛大学、高知大学

プロジェクトの概要

(1) 体制及び活動内容

徳島大学を代表機関、香川大学、愛媛大学及び高知大学を共同実施機関とする 4 大学に、鳴門教育大学を加え、四国女性研究者活躍促進コンソーシアムを構築する。四国国立大学協議会での決議を受けて、各大学で「女性研究者の管理職登用行動計画」を策定し、上位職への女性の積極登用を行う。また、共同研究プロジェクト支援、連携シンポジウムや交流会の開催等の取組により、ライフイベントに配慮しつつ女性研究者の研究力向上を図る。

(2) 各機関の役割分担や連携協力体制

徳島大学は、代表機関として連携事業遂行に必要な業務全般を担う。四国5大学男女共同参画推進連絡協議会（以下「連絡協議会」という。）における協議に基づき5大学が適宜役割分担し、連携協力して上記取組を実施する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
A	b	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

4 連携機関に鳴門教育大学を加えた四国地域の 5 大学から成る「四国女性研究者活躍促進コンソーシアム」を構築し、相互に協力しながら女性研究者活躍促進のための基盤づくりや男女共同参画の意識醸成を進めたことは評価できる。「四国 5 大学連携共同研究プロジェクト制度」を創設し、女性研究者が主導する 44 件の共同研究プロジェクトを展開し、女性研究者の研究力やリーダーシップの向上、異分野交流を促進した。さらに、「四国女性研究者活躍推進ネットワーク会議」を開催し、広く四国地域の企業、自治体等へ女性の活躍促進のための取組を普及させたことは評価できる。今後の取組の継続により、女性研究者の更なる研究力の向上、自然科学系の女性教授数の増加が図られることを期待する。

- ・ **目標達成度**：女性研究者の管理職への登用に係る目標については、各連携機関とも副学長・理事、評議員への積極的な登用を進め、連携機関全体として目標を上回る女性管理職比率を達成しており評価できる。しかしながら、女性研究者の研究力向上に係る所期の目標は、代表機関及び共同実施機関の一部で達成できておらず、継続的な取組の今後の成果を期待する。
- ・ **取組**：「四国 5 大学連携共同研究プロジェクト制度」、「四国 5 大学連携メンター制度」、「四国 5 大学連携非常勤講師の相互支援制度」等、広域な四国地域において、機関を越えて機能する

意識啓発や両立支援に係る特色ある制度を創設したことは評価できる。今後は、女性テニユア教員（任期無し）の離職の要因分析を十分に行い、対応策を工夫することを期待する。

- **取組の成果**：各連携機関において女性研究者の上位職（講師、准教授、教授）への登用を積極的に進め、目標を上回る昇任を進めたことは評価できる。また、管理職登用行动計画を各連携機関が策定し、計画に沿って副学長・理事、評議員等の管理職への女性研究者の登用を着実に進めたことは評価できる。
- **実施体制**：代表機関を中心に、3共同実施機関と鳴門教育大学が連携し、「四国女性研究者活躍促進コンソーシアム」を構築し、テレビ会議システムやe-learning配信システムを効率的に活用することにより、強固な連携体制を構築したことは評価できる。さらに、「四国女性研究者活躍推進ネットワーク会議」を開催し、広く四国地域の企業、自治体等も連携する体制を構築したことは評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：実施期間終了後は、「四国女性研究者活躍促進コンソーシアム」を構成する5機関が男女共同参画推進に係る共同実施に関する協定書を締結し、継続して連携体制を維持しながら女性研究者の活躍促進に努めることを目指しており評価できる。各連携機関においては、取組の継続を図るための予算について今後十分に検討を進め、確保に努めることを期待する。